

行動計画進捗状況



奈良県エコキャラクター
な～らちゃん

令和8年1月

「麗（うるわ）しい奈良県づくり」推進協議会

－ 目 次 －

I	「麗(うるわ)しい奈良県づくり」推進体制	1
II	重点プロジェクト	2
III	実践部会の設置・運営	3
IV	個別事業の概要	
	1. 「大和川のきれい化」推進	4
	2. 「奈良らしい景観づくり」推進	12
	3. 「循環型の生活スタイル」推進	16
V	各分野における実践団体の活動促進	24
VI	「麗(うるわ)しい奈良県づくり」実践者表彰	29

「麗(うるわ)しい奈良県づくり」推進体制

「麗(うるわ)しい奈良県づくり」推進協議会(72者)

(会長:知事 平成28年12月設立)

実践活動の誘発・促進

実践団体部会

24ページ

(平成29年5月設置)

参画・協働

重点課題の個別対策

重点課題対策部会

参画・協働

市町村等

「大和川のきれい化」

重点対策支川部会

6ページ

- ・大和高田・広陵エリア (高田川・土庫川・葛城川)
(平成29年12月設置)
- ・大和郡山・斑鳩・安堵エリア (三代川・岡崎川)
(平成31年1月設置)

「奈良らしい景観づくり」

中和幹線沿道景観部会

14ページ

(平成29年8月～令和7年2月)

「循環型の生活スタイル」

ごみ処理広域化

18ページ

II 重点プロジェクト

1. 「大和川のきれい化」推進

全国ワースト上位ランキングにある大和川の水質を“地域の環境を映す鏡”と捉え、流域の多様な主体による広域的なネットワークにより、水質の改善に一層重点的に取り組むとともに、きれいな水辺空間づくりを目指します。

- (1) 清流復活への取組促進(全国ワースト上位ランキングからの脱却)
- (2) きれいな水辺空間づくり

2. 「奈良らしい景観づくり」推進

本県の強みである歴史的景観などの魅力を一層高めるとともに、良好な都市景観を創出するため、県内各地の特徴ある景観を有する一定の地域を「小庭(エリア)」として、県全体が調和のとれた「一つの庭」となるような植栽景観づくりを促進するとともに、奈良らしい魅力動線を創出するための都市・沿道景観の形成を目指します。

- (1) 「なら四季彩の庭」づくり(奈良県植栽計画の推進)
- (2) 都市・沿道景観の形成

3. 「循環型的生活スタイル」推進

麗(うるわ)しい奈良県づくりのベースとして、資源やエネルギーを大切にする「環境に配慮したライフスタイル」への転換・普及に向けて、本県の地域特性に適したごみ処理の広域化や3R(リデュース・リユース・リサイクル)を促進するとともに、2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロにする脱炭素社会の構築を目指し、再生可能エネルギーのさらなる利活用や省エネ・節電等の推進・定着を図ります。

- (1) ごみ減量化の促進
- (2) ごみ処理広域化の促進
- (3) 不法投棄等の撲滅
- (4) 地球温暖化対策の促進

III 実践部会の設置・運営

重点プロジェクトを推進するにあたり、個別対策の実施及びさらなる実践活動の誘発・促進につなげるため、本協議会に、以下の部会を設置した。(県・市町村及び団体等が連携・協働する新たな「奈良モデル」として推進。)

1. 大和川重点対策支川部会

(大和高田・広陵部会:H29.12設置、大和郡山・斑鳩・安堵部会:H31.1設置)

概要：6ページ

大和川の水質の全国ワースト上位ランキング脱却に向け、水質改善の遅れている重点対策支川(8支川)のうち、「高田川」・「土庫川」・「葛城川」(大和高田・広陵エリア)、及び「三代川」・「岡崎川」(大和郡山・斑鳩・安堵エリア)を対象に、流域市町や団体等が連携・協働しながら、川の水質改善・きれいな水辺空間づくりの実践活動を誘発・促進する。



高田川沿いの千本桜

2. 中和幹線沿道景観部会 (H29.8~R7.2)

概要：14ページ

県の中和地域を東西に結ぶとともに、二上山や三輪山など県を代表する景観資源を眺望できる中和幹線をモデル路線として、おもてなしの心あふれる、奈良らしい美しく風格のある都市・沿道景観づくりを目指すため、県と沿道5市町(大和高田市、橿原市、桜井市、香芝市、広陵町)が連携・協働しながら、沿道での屋外広告物のあり方、及び対策を検討・推進する。



中和幹線(桜井市から二上山方向を望む)

3. 実践団体部会 (H29.5設置)

概要：24ページ

本協議会構成団体(12団体)を中心に、新たな実践団体の掘り起こしを行いながら、実践情報の共有、活動紹介、意見交換等を通して、個々の取組の活性化を図るとともに、全県的な実践活動を誘発・促進する。

IV 個別事業の概要

1. 「大和川のきれい化」推進

(1) 清流復活への取組促進(全国ワースト上位ランキングからの脱却)

① 汚水処理施設の整備を促進し、さらなる水質改善を図ります。

課題	○大和川の水質は全国ワーストランキング上位。 ○下水道、合併浄化槽の整備等により水質は良くなってきているが、さらなる改善が必要。
取組	○公共下水道の整備・接続の促進。 ○合併浄化槽整備、適正な維持管理(法定検査、清掃、保守点検)の促進。

○目標(指標による評価)

	H28	R5	R6	目標値 (R7)
下水道普及率 (大和川流域)	82.9%	86.8%	87.8% ↑	-
汚水処理人口普及率 (県内全域)	88.8%	91.3%	91.7% ↑	95.1%

⇒ 下水道普及率は、令和5年度と比較し令和6年度は1.0ポイント上昇。

⇒ 汚水処理人口普及率(県内全域)は、令和5年度と比較し、令和6年度は0.4ポイント上昇。

・大和川流域における単独浄化槽数は、平成28年度65,352基と比較し、令和6年度は58,572基と、下水道接続や合併浄化槽整備等により、環境への負荷の高い単独浄化槽数が減少。

・大和川流域における有効測定局21地点のBOD平均値は、平成28年度2.6 mg/l、令和5年度2.3 mg/l、令和6年度2.1mg/lと、改善傾向にあります。

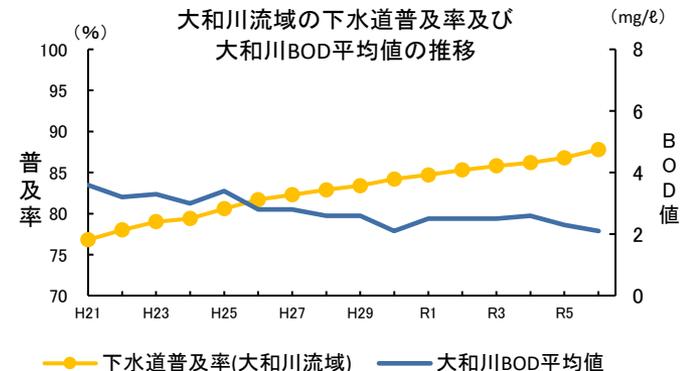
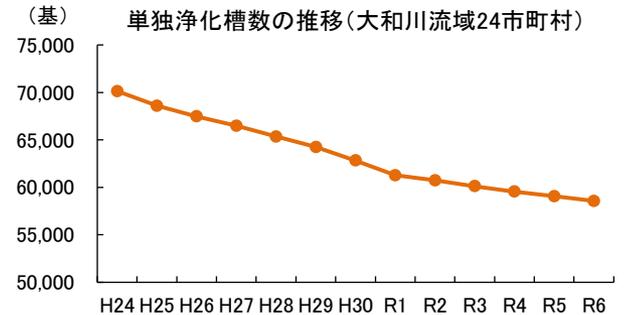
○主な実践例

● 公共下水道の整備・接続の促進

- ・市町村が実施する接続推進員による戸別訪問を支援(県補助)
(補助実績:R6 大和高田市、橿原市、香芝市、田原本町)

● 合併浄化槽整備、及び適正な維持管理の促進

- ・市町村が実施する合併浄化槽設置補助を支援(県補助)(R6補助実績:9市町村87基)
- ・チラシやホームページによる広報・啓発



IV 個別事業の概要

1. 「大和川のきれい化」推進

(1) 清流復活への取組促進(全国ワースト上位ランキングからの脱却)

② 川に「汚れ」を出来るだけ流さない暮らしの普及・定着を図ります。

課題	<ul style="list-style-type: none"> ○河川の水質汚濁要因の半分以上が家庭からの生活排水。 ○県民一人ひとりが、川に「汚れ」を流さない工夫と実践が必要。
取組	<ul style="list-style-type: none"> ○大和川(本川・支川)の水質の「見える化」による県民意識の醸成。 ○多様な主体による広域ネットワーク活動の促進(大和川清流復活ネットワーク(国、県、23市町村、18団体)の活動促進、環境イベントの開催等)。

○目標(指標による評価)

(大和川流域)	R5	R6	目標値
環境基準点(全21地点)での基準値達成地点数	20	20	21

⇒ 全ての環境基準点で基準値を達成できるよう、水質改善を進める。

○主な実践例

- 大和川(本川・支川)の水質の見える化による県民意識の醸成
 - ・「水質の見える化」による啓発
- 多様な主体による広域ネットワーク活動促進
 - ・「県民だより奈良」による啓発(R6.11月)

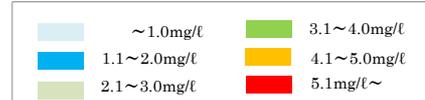
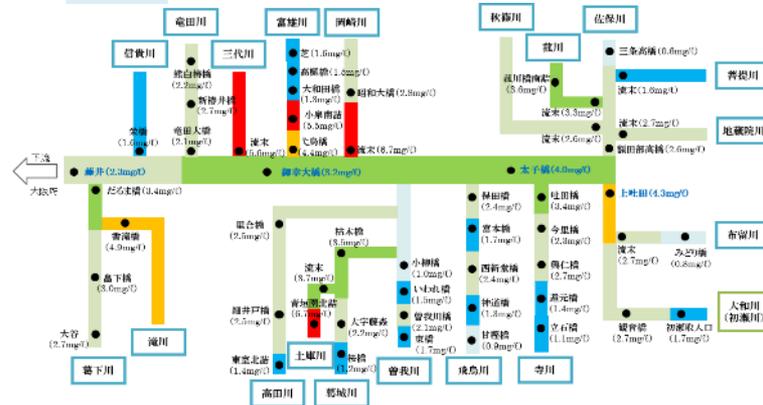


大和川水質マップ(BOD75%値)

H21



R6

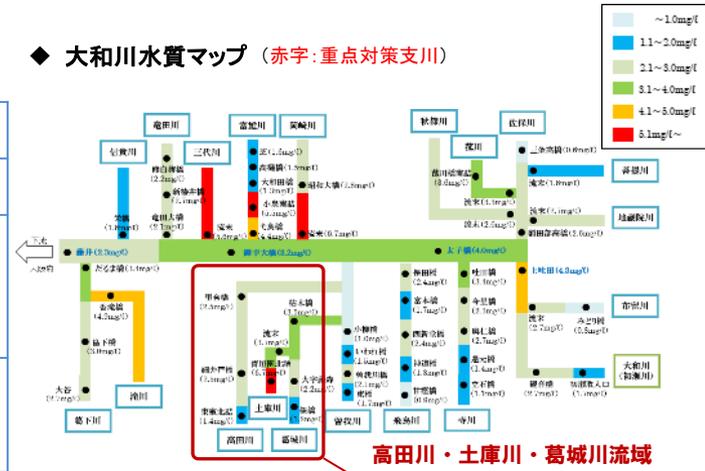


大和川重点対策支川部会(大和高田・広陵エリア)

〈これまでの動き〉

平成29年度	6月	●第1回県・市町担当課長会議 設置・開催
	11月	●第2回担当課長会議(部会設立ワーキング)
	12月	●第1回大和川重点対策支川部会(大和高田・広陵エリア)設置・開催 ・構成メンバー: 担当課長会議メンバー + 団体・有識者 ・地域実践計画骨子について検討・議論
平成30年度	7月	●第2回部会開催 ・地域実践計画の策定・承認 ・普及啓発活動のスケジュールを共有
	9月～3月	●実践計画に基づく普及啓発活動の推進 ・広報誌による広報・啓発(県、大和高田市、広陵町) ・バス広告による啓発(2月:大和川水質改善強化月間) ・自治会等を対象とした集中啓発 啓発チラシを作成し、自治会会合へ出向き、実践活動への理解・協力依頼及び戸別訪問実施について打診(2月、3月) ・事業所への立入指導等の実施
令和元年度 令和6年度		●実践計画に基づく普及啓発活動の推進を継続 ・広報誌による広報・啓発(県、大和高田市、広陵町) ・バス広告・新聞記事(奈良新聞)による啓発(2月:大和川水質改善強化月間) ・事業所への立入指導等の実施 ・土庫川流域の浄化槽世帯(約100世帯)を対象に戸別訪問し生活排水の改善に係る啓発を実施(令和6年11月) ●部会開催 令和3年2月 第3回部会開催(書面開催)、令和4年3月 第4回部会開催(書面開催) 令和5年7月 第5回部会開催(対面開催)、令和6年7月 第6回部会開催(対面開催)
	令和7年度	●第7回部会開催(令和7年7月) ・これまでの実践計画の進捗評価、支援制度の紹介

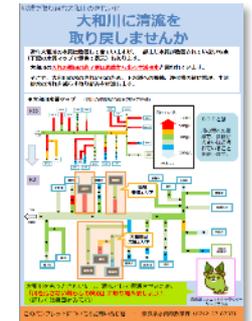
◆ 大和川水質マップ (赤字:重点対策支川)



◆ 広報誌等による普及啓発



奈良県水・大気環境課HP
(令和7年2月18日展示)



啓発用チラシ

今後の取り組み(予定)

- 引き続き、川の現状や水質改善に向けた取組の実践について普及啓発を実施

【大和高田・広陵エリアの「地域の河川サポート事業」への参加状況（令和6年度）】

①大野子供会（清掃）

③大野自警団（清掃）

④高田川ゴミ拾い活動の会（清掃）



⑤笠12組（清掃）

⑥大字安部区（草刈）

⑦地域交流空間エンジェル（植栽）
※「きれいな奈良県づくり功労賞」受賞団体



②寺戸平和子ども会（清掃）

【草刈り】



⑧花友会（植栽）

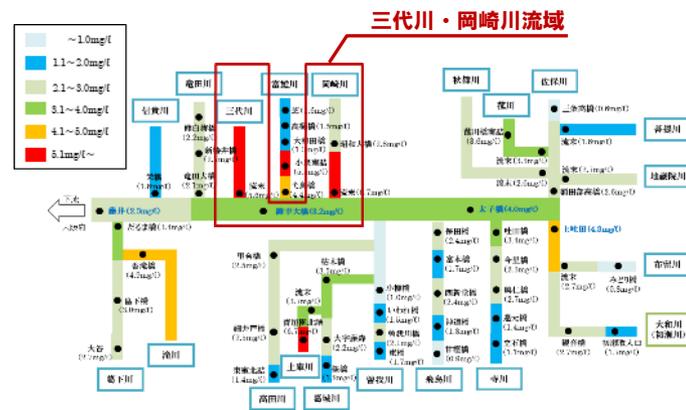


大和川重点対策支川部会(大和郡山・斑鳩・安堵エリア)

<これまでの動き>

平成30年度	7月	<ul style="list-style-type: none"> ●第1回県・市町担当課長会議 設置・開催 県・市町(大和郡山市・斑鳩町・安堵町)が連携しながら、三代川・岡崎川流域の現状分析・課題抽出を行う旨、申し合わせ
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ●第2回県・市町担当課長会議 ・有識者を交え、現状・課題の認識・共有や、課題をふまえた取り組み方針を検討 ・部会メンバー(団体・企業等)の検討
	1月	<ul style="list-style-type: none"> ●第1回大和川重点対策支川部会(大和郡山・斑鳩・安堵エリア)設置・開催 ・構成メンバー: 担当課長会議メンバー + 団体・有識者 ・地域実践計画策定に向けての目標の設定、具体的方策の協議 ・実践活動の促進、情報共有・発信
令和元年度	7月	<ul style="list-style-type: none"> ●第2回部会開催 ・地域実践計画の策定・承認、計画に基づく普及啓発活動のスケジュールを共有
	9月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ●実践計画に基づく普及啓発活動の推進 ・広報誌による広報・啓発(県、大和郡山市、斑鳩町、安堵町) ・バス広告による啓発(2月:大和川水質改善強化月間) ・事業所への立入指導等の実施
令和2年度 令和6年度		<ul style="list-style-type: none"> ●実践計画に基づく普及啓発活動の推進を継続 ・広報誌による広報・啓発(県、大和高田市、広陵町) ・バス広告・新聞記事(奈良新聞)による啓発(2月:大和川水質改善強化月間) ・三代川流域の浄化槽世帯(約200世帯)を対象に戸別訪問し生活排水の改善に係る啓発を実施(令和5年) ●部会開催 令和3年2月 第3回部会開催(書面開催)、令和4年3月 第4回部会開催(書面開催) 令和5年7月 第5回部会開催(対面開催)、令和6年7月 第6回部会開催(対面開催)
令和7年度		<ul style="list-style-type: none"> ●第7回部会開催(令和7年7月) ・これまでの実践計画の進捗評価、支援制度の紹介

◆ 大和川水質マップ (赤字:重点対策支川)



◆ 水辺景観の良くない事例



生活排水の流入(三代川)

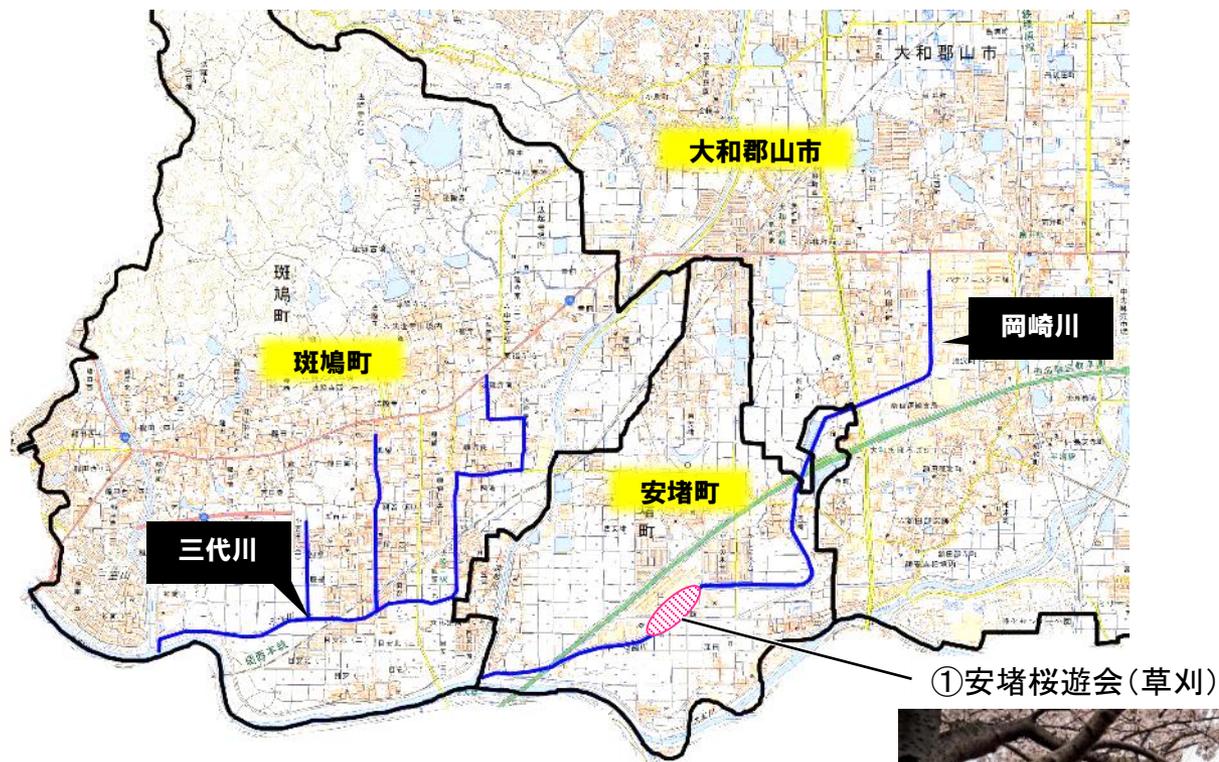


ごみの滞留(岡崎川)

今後の取り組み(予定)

- 引き続き、川の現状や水質改善に向けた取組の実践について普及啓発を実施

【大和郡山・斑鳩・安堵エリアの「地域の河川サポート事業」への参加状況（令和6年度）】



 : 活動エリア

IV 個別事業の概要

1. 「大和川のきれい化」推進

(2)きれいな水辺空間づくり

地域や団体等との協働で、きれいな水辺空間づくりを進めます。

課 題	○人々の暮らしと水辺との関わりが薄らぎ、喪失されてきている。 ○高齢化等により、河川美化活動参加団体数が減少している。 ○水辺の持つ癒やしなどの機能を大切にする住民意識の醸成が必要。
取 組	○地域住民等と連携・協働する河川美化活動の促進(植栽、清掃、草刈り)。 ○水辺の遊歩道や花壇等の整備、地域住民等による維持管理の促進。 ○環境用水の導入促進(農業用水等の利活用)。 ○体験型の河川環境イベントの開催。



親水護岸の整備(佐保川)



大和川一斉清掃(R7.3)

○目標(指標による評価)

	R4	R5	R6	目標値(R7)
河川美化活動 参加団体数	173 ↑	169 ↓	158 ↓	197
	(内訳)	(内訳)	(内訳)	(内訳)
	植栽: 29	植栽: 27	植栽: 22	植栽: 32
	清掃: 91	清掃: 92	清掃: 87	清掃: 106
	草刈: 53	草刈: 50	草刈: 49	草刈: 59

○主な実践例

● 遊歩道、親水施設、花壇等の整備、地域住民等による維持管理の促進

- ・遊歩道の整備 : 竜田川(平群町)、甘田川(葛城市)、菰川(奈良市)
- ・親水施設や花壇の整備 : 佐保川(奈良市)、富雄川(生駒市)、佐味田川(河合町)、滝川(上牧町)

● 環境用水の導入促進(農業用水等の利活用)

- ・菰川(奈良市): 佐保川及び農業用井戸から導水(H21~) ※BOD値 : 9.1mg/ℓ(H20) → 3.0mg/ℓ(R6)
- ※現在は、導水を行わなくても水質が改善されているか水質調査を実施

● 体験型の河川環境イベントの開催

- ・大和川一斉清掃、川の清掃デー、「山」と「川」の学校、大和川源流体験ツアー など

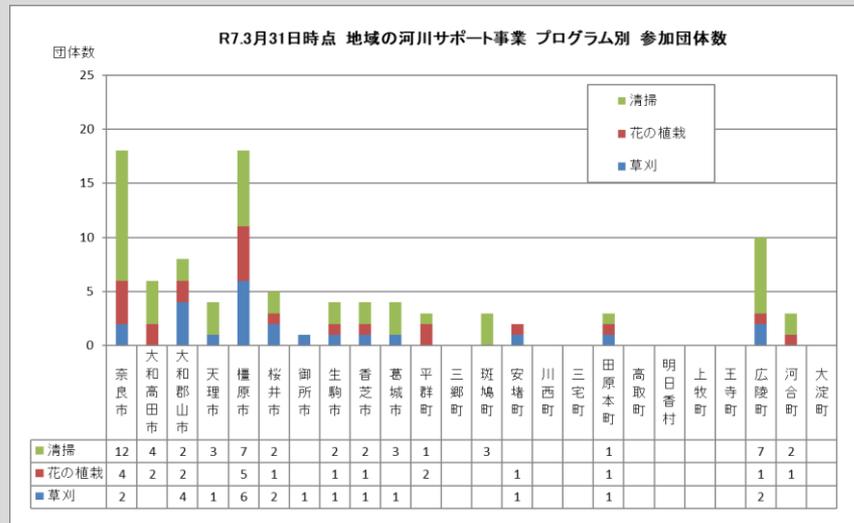
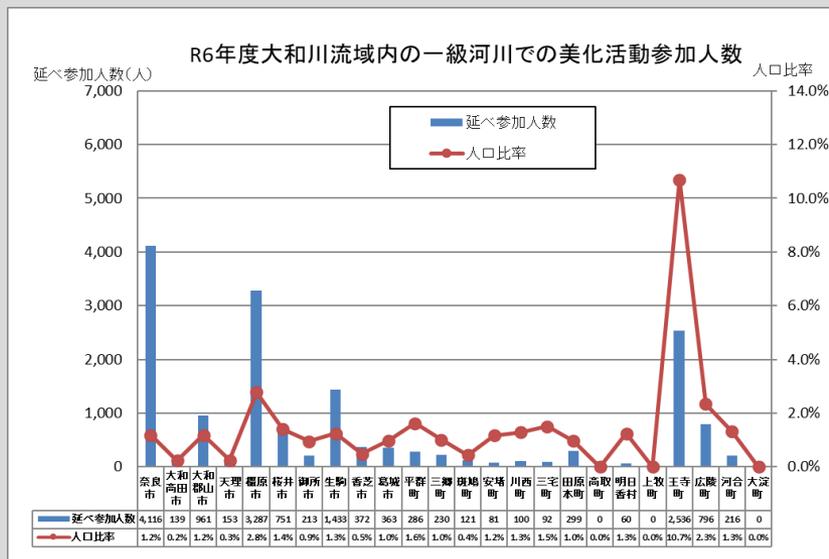


「山」と「川」の学校(R7.7)

● 地域住民等と連携・協働する河川美化活動の促進（植栽、清掃、草刈）

・地域住民やボランティア団体、企業等が自主的に行う河川美化活動（植栽、清掃、草刈）を支援。（地域の河川サポート事業（県））

各市町村での河川美化活動の取り組み状況



⇒ 河川美化活動への住民参加状況について、市町村毎の「地域の河川サポート事業」参加団体数を例に見てみると、市町村間で大きなバラツキがある。

住民参加の全体的な底上げを図るため、「大和川重点対策支川部会」や「大和川清流復活ネットワーク会議」において、現状の共有・認識を図るとともに、自治会等の会合等を通して、河川美化活動への積極的参加について普及・啓発する必要がある。

【現状(汚い)の認識】

■河川敷等に散乱する「ゴミの花」



寺川(田原本町内:R3.1)



曾我川(三宅町内:R3.1)

IV 個別事業の概要

2. 「奈良らしい景観づくり」推進

(1) 「なら四季彩の庭」づくり(奈良県植栽計画の推進)

県内各地の特徴ある景観を有する一定の地域を「小庭(エリア)」として、植栽景観を整え、奈良県全体が調和のとれた「一つの庭」となることを目指します。

課題	<ul style="list-style-type: none"> ○景観の重要な構成要素である植栽に問題があることから、地域の魅力が低下。 ○歴史的・文化的景観など奈良らしい景観を創出するための植栽計画が必要。
取組	<ul style="list-style-type: none"> ○奈良県植栽計画の小庭(エリア)整備推進(計画・施工・管理) ○がんばる市町村や団体等の支援・連携による事業推進 ○地域住民等との連携・協働による継続的な維持管理の促進 ○事業成果の「見える化(ビフォー・アフター)」による推進(進捗が見えるホームページの開設、県民だより奈良による啓発等)



県民だより奈良による啓発
(R7.11月号)

○目標(指標による評価)

	R5	R6	目標値(R10)
小庭(エリア)整備着手数	56	56 →	66
処方整備着手数(管理を含む)	306	309 ↘	350

○主な実践例

- 奈良県植栽計画の小庭(エリア)整備推進(計画・施工・管理)
 - ・補助金等を活用した各エリアの処方事業の推進
- 事業成果の「見える化(ビフォー・アフター)」による推進
 - ・事業進捗・成果の「見える化(ビフォー・アフター)」
 - ※県HPに特設サイト開設(H29~)、インスタグラム開設(R3~R7.4)
 - ・県民だより奈良による啓発(R7 11月号)

【小庭(エリア)の整備事例】

天川村坪内地区 船岡山

橿原市 藤原宮跡

着手前



(撮影: R6.3)

(撮影: R7.5)

着手後



船のテラス設置(R6.8)
(撮影: R6.8)

彩り植栽(R7.6~)
(撮影: R7.8)

IV 個別事業の概要

2. 「奈良らしい景観づくり」推進

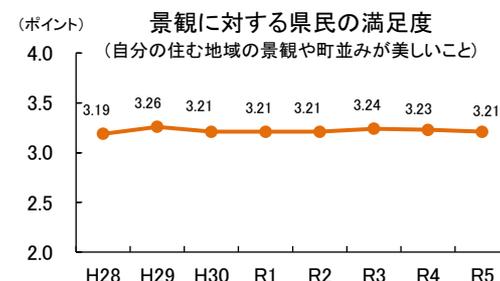
(2) 都市・沿道景観の形成

おもてなしの心あふれる、奈良らしい美しく風格のある都市・沿道景観づくりを目指します。

課題	<ul style="list-style-type: none"> ○市街地・幹線道路沿道における派手な色彩の建築物や屋外広告物などが地域の魅力を低下。 ○景観に対する県民意識を高め、関係主体の連携・協働により地域にふさわしい景観創造に取り組むことが必要。
取組	<ul style="list-style-type: none"> ○まちの魅力づくりに貢献する広告物等のあり方の検討・具現化 ○国際的な歴史文化交流拠点“奈良”の玄関口となる駅周辺における屋外広告物等の対策 ○幹線道路の屋外広告物対策 ○景観住民協定の促進 ○花による沿道の彩りづくり(沿道の事業所・団体等との連携・協働) ○「奈良県無電柱化推進計画(R1.10策定)」に基づき、無電柱化を推進

○目標(指標による評価)

	R4	R5	目標値
景観に対する県民の満足度 (自分の住む地域の景観や町並みが美しいこと)	3.23	3.21↓	-
「奈良県無電柱化推進計画」の対象道路 (約19km)における電線共同溝整備率	18%	18% →	35%(R7)



○主な実践例

● 景観住民協定の促進

・協定締結団体数 : 17団体(令和7年3月末)

● 花による沿道の彩りづくり

・団体等が行う沿道での植栽や清掃活動等を支援(R6実績: 100団体)
 ・地域住民やボランティア団体等が自主的に行う河川美化活動(植栽、清掃、草刈)を支援【再掲】

● 沿道の無電柱化の促進

・歴史的・文化的風土を形成する地域などで良好な景観形成に向けて整備
 飛鳥寺・甘樫丘周辺での整備 0m(H28) → 440m(R2)

【無電柱化の整備事例】

飛鳥寺・甘樫丘周辺で電線類を地中化し、抜柱することで良好な景観が形成された事例(県道から甘樫丘を望む)



整備前



整備後

● 幹線道路の屋外広告物対策

中和幹線沿道景観部会(平成29年8月～令和7年2月)

部会の取組と成果

①「中和幹線屋外広告物ガイドライン」の策定(平成29年3月)

部会の前身組織「中和幹線沿道景観協議会」(設置:平成27年9月、構成:県・沿道市町・有識者)において、目指すべき沿道景観のあり方について検討・議論。平成29年3月には「中和幹線屋外広告物ガイドライン」を策定し(同年4月施行)、屋外広告物に係る景観形成の方針や誘導基準を制定。

<ガイドラインの概要>

中和幹線沿道を**4エリア**に区分し、各エリアの景観形成方針に基づいて誘導基準を設定

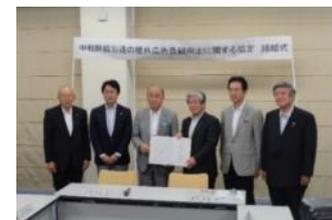
エリアの種別	地域の特性	景観形成方針	主な誘導基準
①二上山・三輪山眺望エリア	二上山・三輪山等の、記紀万葉の歴史を有する山々が正面に見えるエリア	道路軸線上の視線を確保し、二上山や三輪山への良好な眺望景観を形成	・屋上広告物の禁止 ・独立広告物の高さ制限 等
②住宅市街地エリア	街路樹の緑で屋外広告物が目立たず、良好な住宅地の景観が形成されているエリア	住宅と街路樹が調和した落ち着いた景観を維持し、良好なまちなみ景観を形成	・屋上広告物の面積制限 ・独立広告物の高さ制限 等
③田園・山なみエリア	建築物が少なく、沿道に農地や山地の緑を眺めるエリア	独立広告物を制限し、良好な田園景観や山なみ景観を形成	・独立広告物の面積制限 等
④沿道市街地エリア	商業施設やサービス施設、住宅等が混在した賑わいのあるエリア	色彩や配置等の制限により、周囲と調和した賑わいの景観を形成	・背景色は周囲と調和した色彩を使用 等

②「中和幹線沿道の屋外広告景観向上に関する協定」の締結(平成29年5月)

ガイドラインに基づく沿道景観づくりの実現に向け、引き続き、県・5市町が連携・協働して取り組むことを確認。

③中和幹線沿道市町における屋外広告物条例施行規則の改正(平成30年4月改正、10月施行)

中和幹線沿道5市町の規則の一部をガイドラインに合わせる形で改正(経過措置期間6年)。



協定締結式

④既存不適格となる物件への修景のはたらきかけと補助制度の実施(平成30年4月～令和6年9月)

既に許可のあるもので、改正により許可の基準を満たさなくなるもの(既存不適格広告物)について、各市町・県による修景のはたらきかけ。経過措置期間に限り、既存不適格広告物の除却及び改修にかかる経費の10/10(上限70万円)を助成。

中和幹線沿道景観部会(平成29年8月～令和7年2月)

修景実績

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	累計
修景対象物件	43	39	33	13	9	8	7	—
修景実績	4	6	20	4	1	1	2	38
うち補助活用	4	5	7	2	1	0	0	19

修景事例

不適格内容:色彩(香芝市)



修景前



修景後(R2.3撮影)

不適格内容:高さ、色彩(香芝市)



修景前



修景後(R1.12撮影)

不適格内容:色彩(桜井市)



撤去前



撤去後(H30.8撮影)

不適格内容:面積(広陵町)



撤去前



撤去後(H31.3撮影)

部会の解散

令和6年9月をもって規則改正に伴う経過措置期間6年が経過し、あわせて補助制度が終了。以降は各市町の規則に基づいて指導等を行っていくこととし、令和7年2月開催をもって本部会は解散した。

IV 個別事業の概要

3. 「循環型の生活スタイル」推進

(1) ごみ減量化の促進

できる限り「ごみを出さない、ごみを循環的に利用する」暮らしや事業形態への転換を促進します。

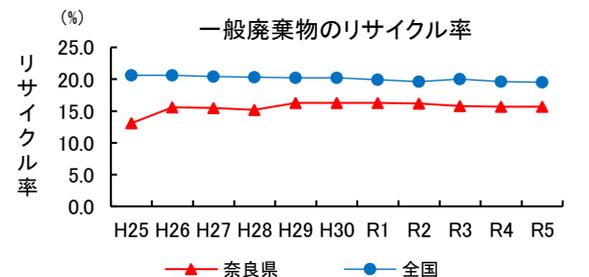
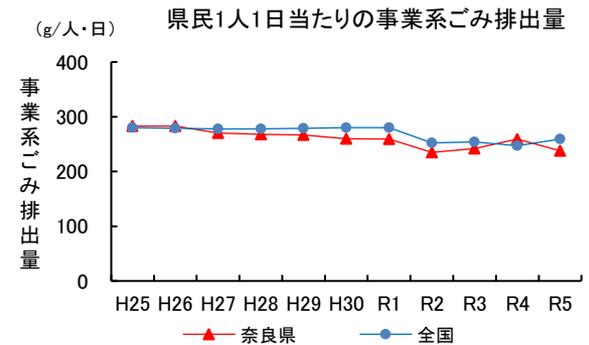
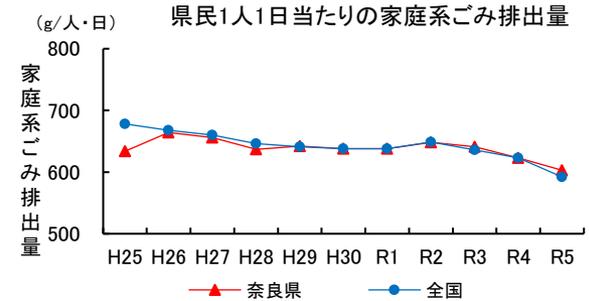
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭系ごみ・事業系ごみともに一人1日当たりの排出量は近年ほぼ横ばい。 ○一般廃棄物のリサイクル率は全国平均よりも低く推移。 ○さらなるごみの減量化に向けた取組が必要。
取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ごみ処理施設における発電等サーマルリサイクル(熱回収)の促進 ○市町村連携によるリサイクル推進(小型家電等の広域回収の促進等) ○企業等との協定締結の促進(レジ袋削減、小型家電回収等) ○分別回収や集団・拠点回収によるリサイクル促進 ○奈良県リサイクル認定製品の普及拡大 ○食品ロスの削減や下水汚泥等の有効利用の促進 ○排出事業者のごみ減量化の研究開発・設備導入への支援 ○県民意識を高めるための情報発信(イベント、啓発冊子等) ○プラスチックごみ削減に向けた取り組み

○目標(指標による評価)

	R4	R5	目標値(R7)
一人1日当たりのごみ排出量※	861g	841g ↓	821g
一般廃棄物リサイクル率	15.7%	15.7% →	19.3%

※は数値の低い方が良くなる指標

⇒ 一人1日あたりのごみの排出量・リサイクル率は、令和4年度と比べ減少し、リサイクル率は横ばい。引き続き、県民・事業者の「ごみを出さない、ごみを循環的に利用する」暮らしや事業形態への転換を促進していく。



○主な実践例

- **ごみ処理施設における発電等サーマルリサイクル（熱回収）の促進**（R6実績：3市2組合）
- **市町村連携によるリサイクル推進、企業等との協定締結の促進**
 - ・小型家電等の広域回収の促進（R6実績：33市町村で分別回収）
- **分別回収や集団・拠点回収によるリサイクル促進**
 - ・集団回収を自主的に行う団体への助成（R6実績：26市町村）
 - ・生ごみ処理容器設置費の補助（R6実績：23市町村）、生ごみの堆肥化（R6実績：4市町村）
 - ・廃食用油の回収による石炭・バイオ燃料等（R6実績：18市町村）
 - ・剪定枝、草木等の堆肥化（R6実績：5市町村）、チップ・ペレット化（R6実績：11市町村）
- **食品ロスの削減や下水汚泥等の有効利用の促進**
 - ・奈良県食品ロス削減啓発イベントの開催（R6年1月18日、19日、R7年10月12日、13日、11月22日、23日）
 - ・食品ロス削減啓発リーフレット及びポスターの作成、企業と連携し店舗でのPOP掲示による啓発
 - ・県庁内で職員を対象としたフードドライブを実施（R6実績：R6年7月、10月、R7年2月、7月、10月 予定：R8年2月）
 - ・フードバンク活動団体へ活動の体制づくり、食品の受入・譲渡の強化に係る経費の補助
 - ・農産物直売所を介した子ども食堂等への未利用農産物の提供（R6実績：3回、延べ7団体）
 - ・令和5年度県民Webアンケートによる意識調査「食品ロス問題をよく知っている」県民の割合47.7%（全国水準：26.0%（R7））
 - ・下水処理過程で発生するメタンガス利用（県浄化センター）
 - ・下水汚泥のセメント原料化（県第二浄化センター）
 - ・し尿・浄化槽汚泥の処理過程で発生するメタンガス利用（2市）
- **排出事業者のごみ減量化の研究開発・設備導入への支援**
 - ・令和6年度末までに研究開発（実績：県内26企業）、設備導入（実績：15企業）へ支援
- **奈良県リサイクル認定製品の普及拡大**
 - ・令和6年度末時点において157品目（土木資材等145、木製品等2、肥料等2、その他10）を認定
- **県民意識を高めるための情報発信**
 - ・環境パトロール・「環境の日」イベントなど



小型家電回収ボックス
（大和高田市HPより）



食品ロス削減啓発POP



啓発リーフレット



啓発ポスター



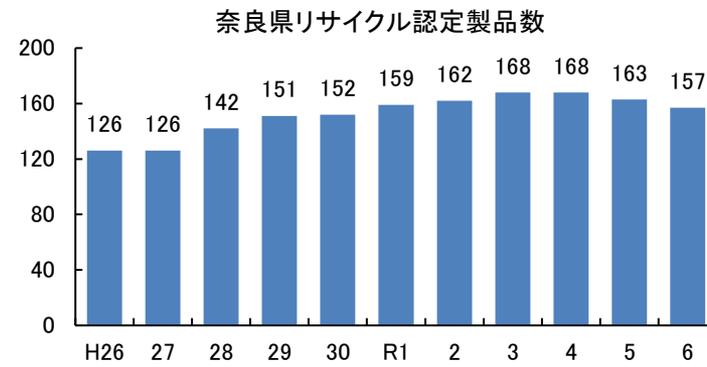
子ども食堂への未利用農産物提供



環境パトロール出発式（R7.6）



「環境の日」イベント（R7.6）



IV 個別事業の概要

3. 「循環型の生活スタイル」推進

(2) ごみ処理広域化の促進

ごみの広域・共同処理を促進し、ごみ処理の安定的継続を確保するとともに、行財政効率の向上を図ります。

課題	<ul style="list-style-type: none"> ○県内のごみ処理施設の大半が、小規模かつ老朽化。 ○施設の広域・統合整備による「ごみ共同処理」促進が喫緊の課題。
取組	<ul style="list-style-type: none"> ○県内のごみ処理広域化を促進(県奈良モデル補助金による支援(県内4地域)) <ul style="list-style-type: none"> ・やまと広域環境衛生事務組合(3市町):3施設を1施設に統合整備(整備済) ・山辺・県北西部広域環境衛生組合(10市町村):7施設を1施設に統合整備(整備中) ・さくら広域環境衛生組合(6町村):2施設を1施設に統合整備(整備済) ・宇陀地域(3市村):2施設を1施設に統合整備(計画中) ○広域・共同処理に併せた「ごみ減量化」及び「効率的なエネルギー回収」の促進

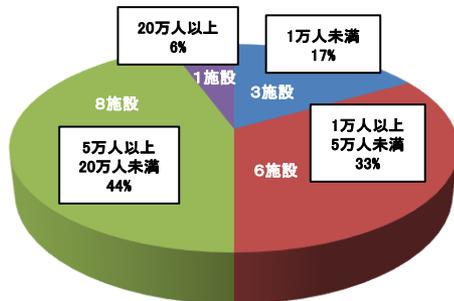
○目標(指標による評価)

	H27	R6	目標値(R7)	R12(想定)
県内のごみ処理施設数※	25	18	15	14

※は数値の低い方が良くなる指標

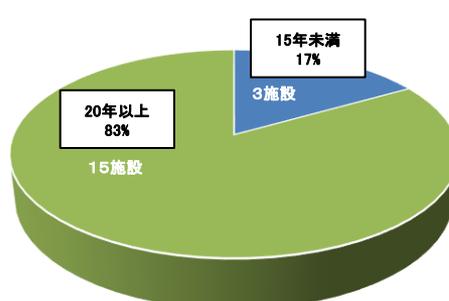
【県内施設の現状(令和6年度末)】

人口規模別施設数割合

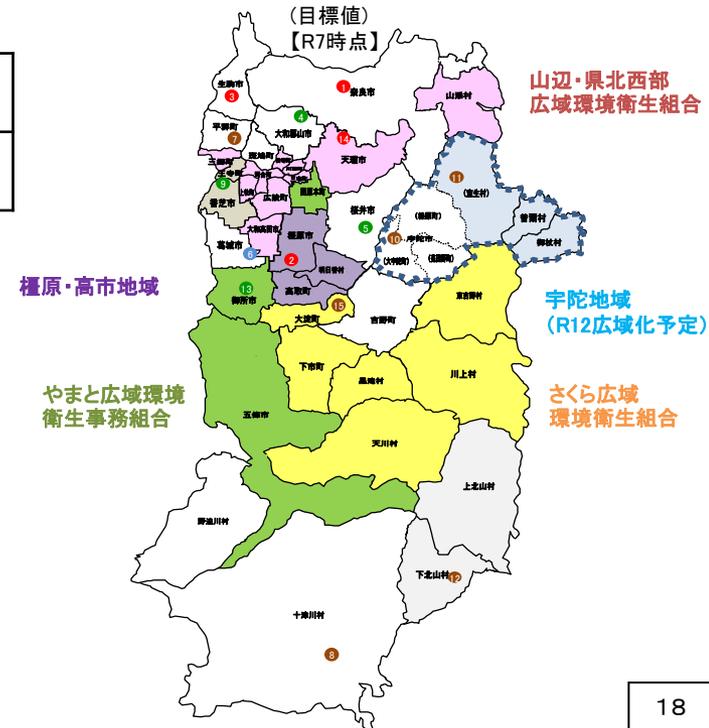


約5割の施設が5万人未満

施設稼働年数割合



約8割の施設が20年以上経過



○主な実践例

- 県内4地域で広域化を促進（県奈良モデル補助金による支援）
- 広域・共同処理に併せた「ごみ減量化」及び「効率的なエネルギー回収」の促進

【県内での広域化の動き】

① やまと広域環境衛生事務組合（平成24年8月設立）

- 構成3市町：御所市、田原本町、五條市
- 進捗：平成27年度から施設建設を開始し、平成29年6月竣工。

② 山辺・県北西部広域環境衛生組合（平成28年4月設立）

- 構成10市町村：大和高田市、天理市、山添村、三郷町、安堵町、川西町、三宅町、上牧町、広陵町、河合町
- 進捗：施設整備の基本計画の策定等を終え、平成30年度より基本設計に着手。令和7年4月竣工、同5月本格稼働開始。

③ さくら広域環境衛生組合（平成28年4月設立）

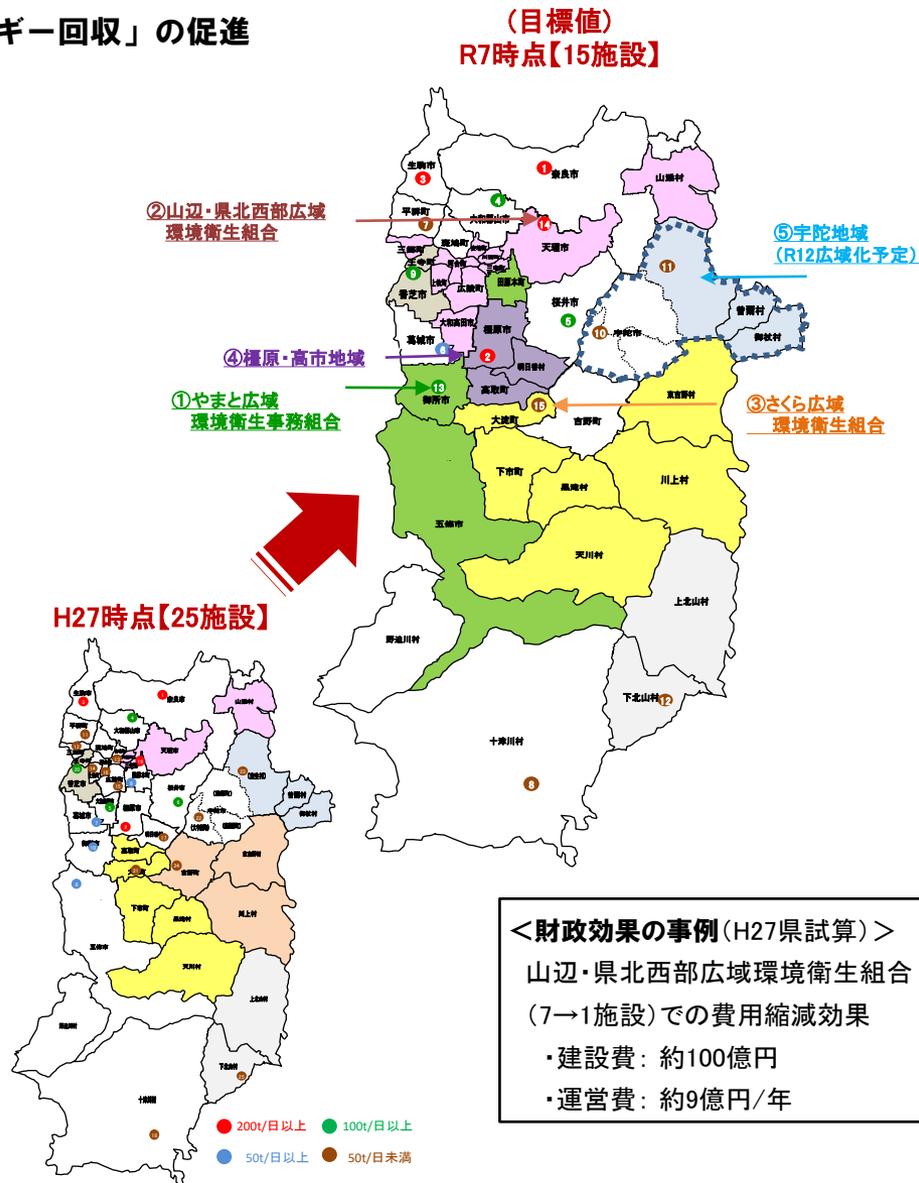
- 構成6町村：大淀町、下市町、黒滝村、天川村、川上村、東吉野村
- 進捗：令和3年度から工事着手し、令和5年10月竣工。

④ 橿原・高市地域

- 構成3市町村：橿原市、高取町、明日香村
- 進捗：「一般廃棄物(可燃ごみ)の処理に関する協定書」締結(H30.11)
高取町(H31.1～)、明日香村(H31.4～)のごみを橿原市の既存施設で処理。

⑤ 宇陀地域

- 構成3市村：宇陀市、曾爾村、御杖村
- 進捗：令和5年10月に宇陀地域ごみ処理広域化推進協議会を設立。
令和12年度の竣工を目指す。



IV 個別事業の概要

3. 「循環型の生活スタイル」推進

(3) 不法投棄等の撲滅

きれいな奈良県を守るため、ごみの不法投棄やポイ捨てを撲滅します。

課 題	○産廃等の不法投棄・焼却は減少しているが、悪質・巧妙化している。 ○ごみのポイ捨ては、まだまだ後を絶たない。 ○監視体制の強化が必要
取 組	○監視パトロールの強化(不法投棄等対策、土地規制法違反对策(砂防三法、森林法等)) ○不法投棄防止対策(フェンス、看板、監視カメラ等の設置) ○県民総監視による体制強化(協力事業所等による見張番、地域環境保全推進員、不法投棄ホットライン等による監視・連絡体制) ○使用済家電等の不適正処理対策の推進(回収業者への立入調査・指導等) ○県民参加型の環境美化活動の促進(道路・河川等の植栽・清掃等) ○不法投棄等の撲滅に向けた啓発推進(テレビ・新聞・ホームページ等のメディアや環境イベント等による情報発信) ○観光地等のごみ対策のあり方を検討・促進
目 標	○ごみの不法投棄やポイ捨ての撲滅

○主な実践例

● 監視パトロールの強化

- ・定期的なパトロールの実施(平日、土日祝祭日・早朝夜間)
- ・警察との連携によるスカイパトロール(年12回)、路上調査を関連自治体と合同実施

● 不法投棄防止対策

- ・市町村が実施する不法投棄防止対策(フェンス、看板、監視カメラの設置)を支援(R6実施市町村:8市町村)

● 県民総監視による体制強化

- ・「不法投棄見張り番」協力団体等との連携(平成20年度に県内10団体と「廃棄物の不法投棄等の情報提供に関する協定書」を締結)
- ・地域環境保全推進員による活動促進(知事委嘱:各市町村に計83名を配置 R7.4.1時点)
- ・不法投棄ホットラインの運営(R6通報件数:77件)

● 使用済み家電等の不適正処理対策の推進

- ・県と全市町村参加による「奈良県使用済み家電等対策連絡会」(平成24年7月)の設立
- ・国・県・市町村の合同チームによる県内一斉立入指導の実施(R6実績:該当案件なし)

● 県民参加型の環境美化活動の促進

- ・地域住民やボランティア団体、企業等が自主的に行う河川美化活動(植栽、清掃、草刈)を支援【再掲】
- ・団体等が行う沿道での植栽や清掃活動等を支援【再掲】
- ・環境関連イベントの開催

・クリーンアップならキャンペーン

【令和7年度統一行動】※昭和57年度から毎年度開催

- 開催日:令和7年10月26日(日)
- 開催場所:県内16コース(清掃活動)と落書き消去1箇所
- 参加人数:約7千人
- 実施主体:県、親切・美化奈良県民運動推進協議会、「小さな親切」運動奈良県本部、なら落書き防止活動ネットワーク



クリーンアップならキャンペーン出発式

- ・大和川一斉清掃(R6実績:2,376名参加)
- ・川の清掃デー(R7実績:約450名参加)地域住民、国、県、市町村が連携し河川清掃等を実施。
- ・吉野川マナーアップキャンペーン

● 不法投棄等の撲滅に向けた啓発推進

・「不法投棄ゼロ作戦」推進キャンペーンの展開

- 啓発ポスター表彰式の開催(令和7年11月2日:奈良県産業会館)
- 「強化週間」での広報(県ホームページ、市町村広報誌、ならリビング紙面広告等)
- 特別パトロール等の実施(県警ヘリによるスカイパトロール等)



不法投棄ゼロ作戦啓発ポスター
(令和7年度)

IV 個別事業の概要

3. 「循環型の生活スタイル」推進

(4) 地球温暖化防止対策の促進

暮らしや事業活動のなかで、温室効果ガス排出量の削減に取り組みます。

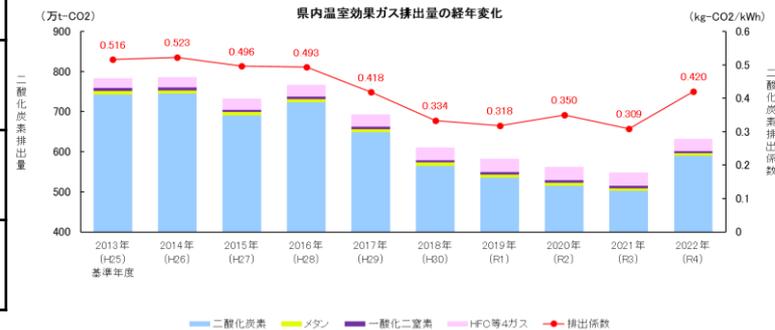
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ○本県においても、過去50年間で平均気温が約1.0℃上昇。 ○県内の電灯使用電力量は減少しているが、東日本大震災以降の火力発電の炊き増し等により温室効果ガスは増加傾向。 ○再生可能エネルギーの導入、省エネによる温室効果ガス削減の取組が必要。
取 組	<ul style="list-style-type: none"> ○省エネ・節電等の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「奈良の省エネ・節電スタイル」の推進(関西脱炭素アクション(夏・冬)、「奈良県庁ストップ温暖化実行計画」の推進) ・省エネ対策への支援(高効率・省エネルギー設備等導入支援、CO₂削減アドバイザー派遣) ・省エネの県民等への理解促進(まほろばエコオフィスの登録促進、ストップ温暖化推進員の養成・活動支援、環境県民フォーラム、奈良県地球温暖化防止活動推進センターの活動支援) ○再生可能エネルギーを活用した地域の取組への支援(設備導入支援等) ○多様なエネルギーの利活用の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・太陽熱利用システムの導入支援 ・エネルギーの高度利活用推進(電気自動車用急速充電器の普及促進、水素ステーションの開所、スマートハウス普及促進等) ・移動時に、温室効果ガスを排出しない移動手段への転換 ○健全な森林整備によるCO₂吸収源の確保(計画的な間伐、県産材利用の促進等)

○目標(指標による評価)

	R5	R6	目標値
温室効果ガス排出量削減率(H25(2013)比)	36.0%減 (R3(2021))	26.8%減 ↓ (R4(2022))	45.9%減 (R12(2030))
年間電力使用量 ※	6,612,558千kw	6,738,913千kw ↑	6,197,311千kw (R6(2024))
再生可能エネルギー導入量	696,917kw	712,453kw ↑	721,000kw (R6(2024))

※は数値の低い方が良くなる指標

- ⇒ 令和4(2022)年度の温室効果ガス排出量(最新データ)は、平成25(2013)年度(基準年度)と比較し26.8%減少している。
- ⇒ 年間電力使用量は微増、再生可能エネルギー導入量については太陽光発電を中心に増加している。
- ⇒ 引き続き、温室効果ガス排出量の削減に向け、省エネ・節電、再生可能エネルギー導入、CO₂吸収源の確保に取り組む。



○主な実践例

● 省エネ・節電等の推進

- ・「関西脱炭素アクション」(夏・冬)の実施
- ・奈良県庁環境マネジメントシステムの運用
奈良県庁ストップ温暖化実行計画の推進(県自らの率先取組)
(実績:温室効果ガス排出量の削減率は、R6年度でH25年度(基準年度)比26.8%減)
- ・省エネ・節電対策への支援
高効率・省エネルギー設備等導入支援(R6補助実績:71件(延べ164件))
CO2削減アドバイザー派遣(R6実績:3件(延べ64件))
- ・省エネ・節電の県民等への理解促進
ストップ温暖化推進員の養成・活動支援(推進員数:270名(R7.9.30時点))
奈良県環境県民フォーラムの活動支援(構成団体数:27団体(R7.12現在))

● 再生可能エネルギーを活用した地域の取組への支援(設備導入支援等)

- ・グリーンニューディール基金を活用した施設整備の促進
(H26~H28補助実績:55施設(県4、市町村等51))
- ・木質バイオマスエネルギーの導入促進
ペレットストーブ等導入補助(R6補助実績:1件(延べ76件))
- ・農村資源(水路・ため池等)活用による再生可能エネルギー導入調査や施設整備の促進
(H26~H29補助実績:太陽光発電施設の導入検討調査他 延べ5団体)

● 多様なエネルギーの利活用の推進

- ・太陽熱・地中熱利用システム等の導入支援(延べ4件)
- ・水素ステーションの開所(R3.4)
- ・スマートハウス普及促進(R6補助実績:218件(延べ3,456件))

● 健全な森林整備によるCO₂吸収源の確保

- ・施業放置林の解消、混交林化の推進(R6実績:混交林への誘導整備面積79ha)
- ・県産材利用の促進
県産材、奈良県地域認証材又は県産材JAS材を使用して一戸建ての住宅の新築等を行う
施主等を支援(R6補助実績:県産材62件(延べ1,534件)、地域認証材155件(延べ1,200件)、
県産JAS材3件(延べ3件))
公共施設等の木造木質化の促進、公共事業への間伐材等の利用促進
(R6実績(県施設):郡山高校部室、王寺工業高校弓道場、道の駅クロスウェイなかまち)



関西脱炭素アクション～関西夏のエコスタイル～
(令和7年度・夏)



農業用水路を活用した太陽光発電施設



谷止工(公共事業への間伐材利用)

V 各分野における実践団体の活動促進

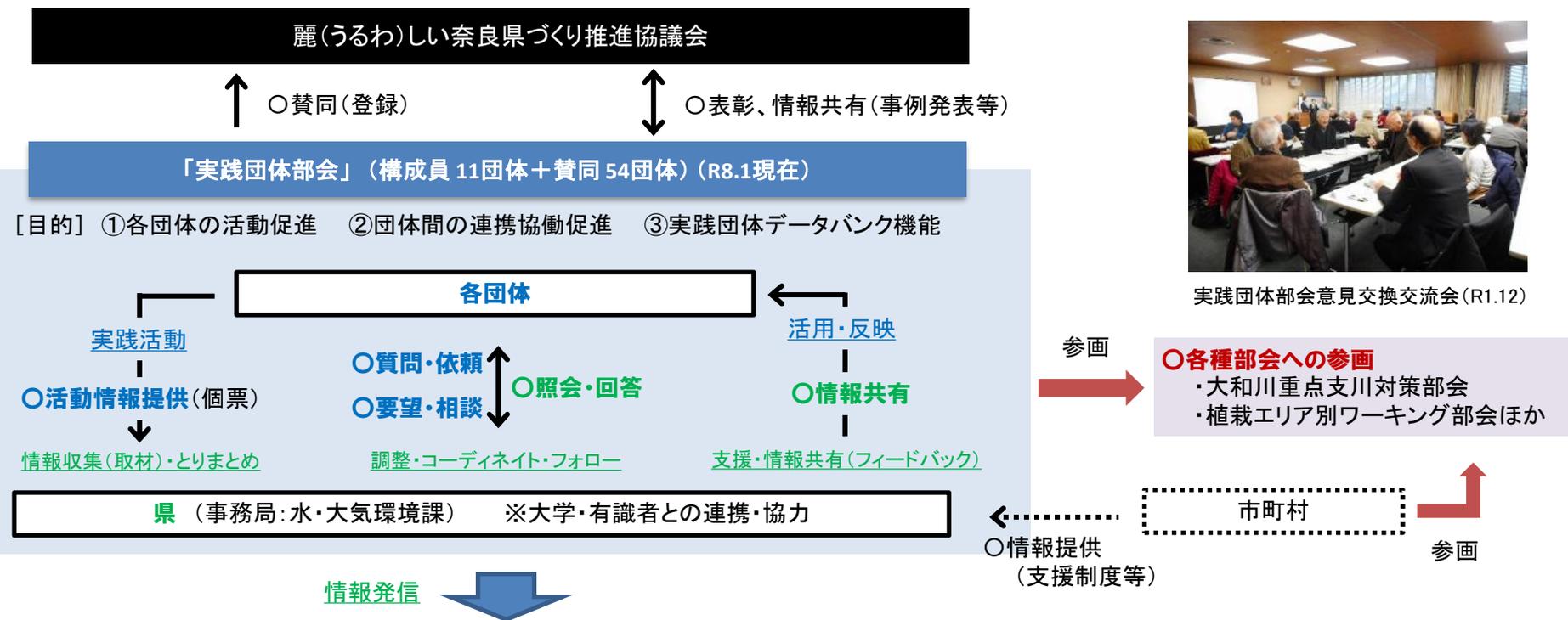
実践団体部会(平成29年5月設立)

1. 目的

「麗(うるわ)しい奈良県づくり」の趣旨に賛同する実践団体による意見交換・情報共有の場として「部会」を設置し、各団体の活動促進、団体間の連携協働促進、データバンク機能を果たすことで、全県的な実践活動の誘発につなげる。

2. 推進スキーム(運営体制)

平成30年度までは、推進協議会構成員の活動団体で実践団体部会を設置・開催し、意見交換や情報共有を実施してきた。令和元年度からは、これまでの団体に、**本趣旨に賛同していただける団体を加えていき**、下記の推進スキームにより、各団体の活性化とともに、団体間の連携・協働を図ることで、全県的な取組へとつなげていく。



○情報発信(県HPに掲載)

- ・県・市町村助成制度、相談結果(技術的)など
- ・各団体イベント情報
- ・活動実績(ビフォーアフター写真、データ)

3. 構成メンバー

○実践団体部会構成員(11団体)

※五十音順

団体名	活動エリア	川	景観	循環	実践内容
秋篠川源流を愛し育てる会	奈良市	○	○		川の清掃、児童環境標語の掲示、地域交流活動、桜の見守り
安堵桜遊会	安堵町	○	○		公園の草刈り、ごみ拾い、地域町おこしイベント等への参加
NPO法人 エコ葛城市民ネットワーク	葛城市			○	堆肥づくり、イベントの開催、川の清掃活動、環境教育、廃食油の回収
NPO法人 山野草の里づくりの会	桜井市		○		里山整備、イベントの主催、環境教育、古代米等の栽培、ボランティア養成、ピオトープ活動
NPO法人 平城宮跡サポートネットワーク	奈良市		○		清掃活動、防犯パトロール、桜見守り活動、文化・ガイド活動
春日山原始林を未来へつなぐ会	奈良市		○		原始林保全活動、普及啓発活動
昭和工業団地協議会	大和郡山市	○	○		クリーンキャンペーンへの参加、岡崎川の清掃活動
曾爾街道風景づくり隊	曾爾村		○		植栽、花街道づくり
奈良県環境県民フォーラム	県内一帯	○	○	○	植樹バスツアー、エコ見学会、環境にやさしい買い物キャンペーンの実施、自然体験教室の開催
奈良県地球温暖化防止活動推進センター	県内一帯			○	地球温暖化対策の普及啓発(出前講座の・環境啓発イベント・ツール開発)、環境家計簿・うちエコ診断による省エネアドバイス、次世代自動車・断熱住宅の推進、各主体のネットワークを図る事業、地域ゼロカーボン計画作り支援等
緑友会	県内一帯		○	○	花壇づくり、県事業への参加、植栽、「なら四季彩の庭づくり」の普及啓発への協力(ステッカーの掲示)、古都奈良の里地里山管理、地球温暖化防止対策

○賛同団体 54団体(R8.1月時点)

団体名	活動エリア	川	景観	循環	実践内容
飛鳥川散歩道の会	橿原市 (飛鳥川)	○	○		飛鳥川遊歩道花壇の植栽、清掃活動
あすか野オアシスの会	生駒市		○		地域内バス停付近での植栽、清掃活動、地域内公園での植栽、バス通り側道での清掃活動
明日の的野を創ろう会	山添村		○	○	水車による自然エネルギーの活用。水車周辺の植栽整備等。
いこま里山クラブ	生駒市		○		生駒山麓公園の樹林地の整備、矢田丘陵遊歩道の草刈及び整備、池田林の整備、子供達を対象とする対象にした自然観察会や市民に対しての体験講座の開催。

団体名	活動エリア	川	景観	循環	実践内容
石原田町シニアクラブ双葉会	橿原市		○		耳成駅周辺の道路や歩道の植栽、駅南北周辺の清掃活動
泉台自治会 花壇公園チーム	河合町		○		花壇への植栽と維持管理、自治会内の公園の除草や植栽の剪定
NPO法人うだ夢創の里	宇陀市		○		4R事業(リサイクルステーション、もったいない市、生ごみのたい肥化)の実施
ECOKA委員会	生駒市		○		鹿ノ台地区周辺緑地の整備・植栽、地区内のオープンガーデンの植栽
笑郷まほろばの会	香芝市		○	○	自然観察会、植栽講習、省エネなどの講習参加・実施等
S.C.C	奈良市		○		佐保川小学校南東屋付近の植栽、清掃活動等の実施
F A 奈良	奈良市		○		大淵公園・ボランティアセンター等での植栽、低木の剪定、花等に関する講師の派遣等
大字石見フラワーチーム	三宅町		○		石見駅周辺や公民館・公園等での清掃・植栽、講習会や研修の実施等
かつらぎわかくさ会	王寺町	○	○		葛下川堤防沿い、ウォータースクエア、ポンプ場(自治会内広場)、自治会内道路の清掃活動等
王寺町かよう会	王寺町		○		明神山進入路～山頂の参道の落ち葉清掃、維持管理
川西町・サークルお花畑	川西町		○		公園・沿道・駅構内の植栽・樹木の管理、結崎駅周辺の除草・清掃活動等
環境サークルみみなしぐるうぷ	橿原市、桜井市			○	環境教育啓蒙(学童保育)、環境フェスタ(橿原市)・環境フェア(桜井市)出展、広告紙等を使った簡単箱づくり
環境ボランティア「エコみ～るず」	香芝市			○	市内の小学校での環境学習(ごみのリサイクルに関する講義、ごみ分別体験)
NPO法人関西ワンディッシュエイド協会	生駒市 奈良市			○	生駒市・奈良市で廃食器回収、もったいない食器市の開催、廃食器の再資源化
菊美台クラブ	平群町		○		駅前の清掃、ロータリーの花壇の種まきや水やり、草取り等
グリーンボランティア「いこま宝の里」	生駒市		○		イモ山公園、真弓どんぐり公園の樹林整備等
公園ボランティア	奈良市		○		西大寺近隣公園の草刈り、清掃活動等
広陵町商工会	広陵町			○	靴下ハギレを手芸指編材料として再生利用(全国の老人施設に発送)、靴下リサイクル作品展の開催
特定非営利活動法人 サークルおてんとさん	県内一帯			○	地球温暖化防止や再生可能エネルギーの普及啓発活動、講演会、環境講座

団体名	活動エリア	川	景観	循環	実践内容
佐保川ガーディアンズ	奈良市		○		佐保川及び佐保川沿いの公園の清掃活動、樹木の管理・剪定等
佐保台グリーンサポートすみれクラブ	奈良市		○		地域内の佐保台第3号街区公園と周辺道路の草刈り、植栽、清掃活動
佐保台グリーンサポートなでしこクラブ	奈良市		○		佐保台4号街区公園の草刈、剪定等の維持管理及び清掃活動
佐保台グリーンサポートパンジークラブ	奈良市		○		平城山駅東口のロータリー周辺道路の植栽、清掃活動等
C・C・C 泉ヶ丘	王寺町		○		自治会内侵入路・道路・公園等の除草・草刈り・雑木の伐採などの維持管理
市民公益活動団体「ほたる」	生駒市	○			市内河川のホタルの生息に関する環境調査
しらかし花を咲かそう会	橿原市	○			高取川河川敷の植栽、清掃活動
竜田川流域の美しい街まもり隊	生駒市	○	○		近鉄生駒線菜畑駅周辺～第二阪奈壱分、インター間の清掃活動、近鉄菜畑駅高架下北側県有空地の植栽
竜田公園を愛する会	斑鳩町	○	○		竜田公園周辺(河川含む)の清掃、植栽、草刈、ポイ捨て禁止の啓発活動 等
地域交流 空間エンジェル	大和高田市	○			高田川沿い・大中公園の清掃活動、植栽。ごみ問題をテーマとしてイベントの開催等
一般社団法人 地域未来エネルギー奈良	県内一帯			○	市民・地域共同発電所づくりのための調査活動、再エネ発電の事業者を支援する人員支援・派遣等、EV車普及のための試乗体験会及び使用者による座談会の開催
地球の宝を守り隊	宇陀市			○	リサイクル活動、清掃活動、小学校の放課後教室の講師として派遣
NPO法人なないろサーカス団	王寺町		○		森づくりなどの環境保全活動等
奈良県生活協同組合連合会	奈良市			○	環境に関する講演会、会員生協役員対象の再エネ利用見学会などの開催
奈良・人と自然の会	奈良市		○		平城宮跡特別保存地区にて里山や田畑の復元活動、佐保自然の森プロジェクトとして不要木の伐採・植樹、小学校と協働し田植え等の実習や自然観察会の実施
西の山園芸クラブ	斑鳩町		○		公園の花壇整備、花の種まき、育成、植え替え、雑草取り、水やり等
新口町自治会	橿原市		○		新口町の公共施設等の植栽等
萩乃里自治会	宇陀市		○		榛原萩乃里周辺の植栽、公園の草刈り、清掃活動等
花いっぱい運動の会	奈良市		○		地域企業や市と協働での近鉄高の原駅のふれあい広場等の植栽、低木の剪定、清掃活動等

団体名	活動エリア	川	景観	循環	実践内容
東吉野村小水力利用推進協議会	東吉野村			○	研究会の開催、小水力発電設備先進地研修等
舟戸2丁目クリーン会	王寺町		○		通学路や公園等の植栽、地域の道路や公園・公共施設などの清掃活動
平城宮跡緑のボランティア	奈良市		○		東院庭園の除草、梅・生け垣剪定、松枯れ予防等
菩提川を汚さない会	奈良市	○	○		菩薩川の水質検査(CDO値)、河川敷での植栽、河川清掃活動
虫いっぱいのに里山づくり隊	橿原市		○		里山林の維持管理(下草刈り・間伐・植栽・遊歩道の整備・花壇の整備)、観察マップの発行等
NPO法人森づくり奈良クラブ	奈良市		○		矢田山遊びの森の森林整備等
柳生街道・滝坂の道を守る会	奈良市		○		春日山(滝坂の道等)の自然環境の保全、自然歩道や側溝等の清掃活動、能登川内の清掃保護・倒木の撤去等
やまと郡山環境を良くする市民の会	大和郡山市	○	○		富雄川河川敷・サイクリングロード沿いの植栽、清掃活動
友遊クラブ・みその	王寺町		○		花の植栽、自治会内・公園・公共施設の清掃活動
吉野川左岸の景観を守る会	吉野町		○		吉野川左岸堤防沿いの桜の植樹・維持管理、桜の周辺の草刈り、植栽等
吉野小水力利用推進協議会	吉野町			○	地域住民が主となって水車を製作し地域の必要に活かす「水車プロジェクト」の実施、県内での小水車プロジェクトへの支援・相談
6-6グリーンサポートフジの会	奈良市		○		公園の草刈り、植栽、清掃活動等

VI 「麗(うるわ)しい奈良県づくり」実践者表彰 及び 感謝状贈呈

令和7年度麗(うるわ)しい奈良県づくり功労賞受賞者

部門	受賞者名	表彰内容(活動内容)	
景観づくり	奈良中央信用金庫	〔活動開始時期〕 平成16年11月 〔活動人数〕 255人 〔活動内容〕 全役職員で「ちゅうしんボランティアクラブ」を設立し、毎年1回、県内の営業店所在の14箇所に分かれ、清掃活動を実施している。活動には高等養護学校の生徒も一緒に参加し、障がい者に社会活動の場を提供するとともに地元の社会福祉協議会への寄付も行っている。 また、各営業店では年に数回営業店や駅、商店街等の周辺を清掃している。	 一斉清掃の様子
	有限会社環境処理センター	〔活動開始時期〕 令和3年10月 〔活動人数〕 11人 〔活動内容〕 御所市内の道路や、葛城川、曾我川、満願寺川、鎌田川などの河川沿いに落ちているごみ拾い・清掃活動を月に4回実施している。	 河川での清掃活動の様子
	山の辺の道ファンクラブ	〔活動開始時期〕 平成28年4月 〔活動人数〕 70人 〔活動内容〕 山の辺の道の沿道にある休耕地に、春は菜の花、初夏には花苜蓿、夏から秋にかけては綿の花などを育て、四季折々の景観を行き交う人々に楽しんでもらおうと、畝づくりや種まき、草引きなどを継続して実施している。また、春は「菜の花祭り」、秋は「山の辺の道まつり」などのイベントも開催して景観保全に関する交流、体験を進めている。	 春の活動場所の様子

令和7年度麗(うるわ)しい奈良県づくり推進協議会 感謝状受領者

トヨタユニテッド奈良株式会社	〔活動開始時期〕 昭和51年 〔活動内容〕 地域に根ざした社会貢献活動の一環として、県内の緑化を推進する「ふれあいグリーンキャンペーン」を、昭和51年より50年間継続的に実施している。このキャンペーンの一環として、毎年県に花苗等を寄贈しており、県は寄贈された花苗を市町村を通じて県内各地で植栽し、景観向上に活用している。	 寄贈した花苗の植栽参加の様子
----------------	---	---